神戸高専学園都市移転から 20 年

中尾幸一*　赤対秀明**

Change of KCCT in 20 Years after the Removal to Gakuentoshi

Kouichi NAKAO*　Hideaki SHAKUTSUI**

1．はじめに

本校は、平成 2 年 4 月 1 日に現在の学園都市に移転した。それまでは、垂水区の舞子台に学舎を構えていたが、明石海峡大橋の建設と連動して、学園都市への移転が急ピッチで進められた。平成 21 年度にちょうど移転 20 年をむかえた。人間でいえば、“ はたち ” である。

本稿では、“ 成人した ”神戸高専の学舎の変遷を記録に残すため、特に施設面からの資料を集めた。本校の一つの節目として、保存されれば幸いである。

2．移転の経緯

舞子学舎は、昭和 34 年竣工の中央実験棟をはじめとして老朽化がすすみ、また、全国一の学生数を擁しているにもかかわらず 42700m^2 と狭く、昭和 50 年頃から、移転による再整備の構想が持ち上がっていた。

移転候補地として現在地の神戸研究学園都市があり、「将来計画策定委員会」が設置されて審議の後、昭和 56 年 8 月に「神戸高専の将来計画に関する報告書」がまとめられた。神戸市から、昭和 56 年より調査費の予算措置があり、昭和 61 年度予算で移転着工経費が認められ、開校時期は昭和 65 年 4 月（当時）とされた。校内でも準備がすすみ、平成 2 年 4 月、学園都市に移転開校した。校地面積 85,500 ㎡、建築面積 15,200 ㎡、校舎延床面積 28,700 ㎡で、設備も整備された。

3．移転後 10 年間の変遷

3.1 外周道路にカーブミラー設置

3.2 中央広場マイク設備設置

3.3 女子トイレ増設

3.4 平成 6 年度トレーニングルーム新設

体育館武道場下の一階スペースに各種のトレーニングマシーン、バーベル等の器具を備えた、筋力トレーニングを安全かつ効率的に行うことができる部屋が作られた(写真 1)。

写真 1 トレーニングルーム

3.5 校門名盤の拡大化

写真 2 正門の新旧の名盤

3.6 阪神淡路大震災・校舎被災

平成 7 年 1 月の阪神淡路大震災では、神戸高専にも多くの被害があった。室内は、写真 3 のような状態で早朝でなければ多くの人が負傷していたと思われる。建物にも多くのクラックが生じていた。

写真 3 被害を受けた研究室

* 都市工学科　教授
** 機械工学科　教授

3.7 仮設住宅建設

平成 7 年 7 月、震災被災者のため仮設住宅が本校グラウンドに建設された。写真 4 はその情景であり、図1のような状況であった。平成12年1月に撤去された。

写真 4 グラウンドの仮設住宅

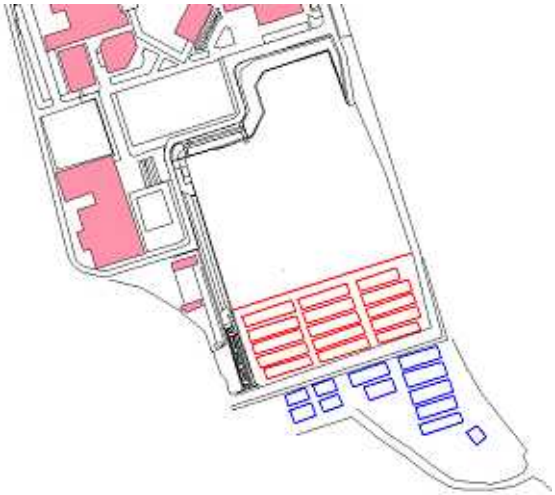

図 1 グラウンドの仮設住宅

4．移転後 10 年から 20 年の変遷

4.1 専攻科棟建設

平成 10 年 4 月に専攻科が設置され、平成 11 年 2 月専攻科棟の建設に着工、10 月に竣工した(写真 5)。

写真 5 専攻科棟

4.2 専攻科長室設置

平成 14 年に本部棟 1 階の車庫であったところを専攻科長室とした。

4.3 講義棟に防護ネット設置

4.4 生物工学実験室増設

4.5 ロボコン製作室・ソーラーカー製作室の新設

機械工学科棟 1 階ピロティにロボコン製作室(写真6左側)とソーラーカー製作室(写真 6 右側)が設置された。

写真 6 ロボコン製作室とソーラーカー製作室

4.6 地域協働研究センター室設置

平成16年に本部棟 1 階にあった専攻科長室が専攻科棟に移転し、そこを地域協働研究センター室とした。以後、地域協働研究センターの活動拠点として活用されている。平成 22 年度には広報室も同所に設置された。

4.7 体育館前に渡り廊下とひさし取り付け

トレーニングルームが設置されたため、体育館に入るためには屋根のない区間を通らなければならなくなっていた。これを改善するため、写真 7 の渡り廊下が設置された。この渡り廊下の設置で、雨天時に濡れずに体育館に入ることができるようになった。

写真 7 体育館前の渡り廊下とひさし

4.8 掲示版設置（２基）

本部棟北側に新たに２カ所設置された（写真 8)。

4.9 日本庭園外部入口設置

移転当初から日本庭園があったが、出入が難しい状態であった。これを活用できるよう出入り口を設置した(写真 9)。

4.10 学生相談室の設置

本部棟 1F の保健室の向かいに専用室が設置された。

写真 8 新たに設置された掲示板

写真 9 日本庭園外部入口設置

写真 10 高電圧実験棟増築部分

写真 11 グラウンド更衣室

写真 12 電気工学科仮設実験室

4.11 M－C棟間４F踊り場にソファー設置

専門科棟の階段近くにソファーを設置した。様々な用途で活用されている。

4.12 高電圧実験棟増築

高電圧実験の安全確保のために要求していた実験室の増築が実現した(写真 10)。

4.13 グラウンド更衣室の設置

グラウンドに更衣室がなく、不便であったが、42 回生の卒業記念として設置された(写真 11)。

4.14 電気工学科仮設実験室建設

西駐車場の一角に電気工学科仮設実験室が設置された(写真 12)。

5．六甲工業高校記念碑

神戸高専の母体となった六甲工業高校の記念碑は、舞子の校地内に設置されていたが、移転以来、行方不明となっていた。平成 9 年にこれが見つかり、正門南の植栽内に再建された(写真 13)。

写真 13 六甲工業高校記念碑

6．卒業時に贈られた記念品

Ｈ 3,3　第 24 回生　掛け時計（所在不明）
Ｈ 4,3　第 25 回生　（不明）
Ｈ 5,3　第 26 回生　（不明）
Ｈ 6,3　第 27 回生　植樹「かりん」(写真 14)
Ｈ 7,3　第 28 回生　植樹「うめ」(写真 15)
Ｈ 8,3　第 29 回生　植樹「シャラ」(写真 16)
Ｈ 9,3　第 30 回生　掛け時計（図書館）

H10,3　第 31 回生　花台（本部棟ロビー）
H11,3　第 32 回生　掛け時計（食堂）
H12,3　第 33 回生　掛け時計（体育館玄関）
H13,3　第 34 回生　植樹「きんもくせい」（写真 17）
H14,3　第 35 回生　植樹「タイワンフウ」（写真 18））
H15,3　第 36 回生　植樹「サルスベリ」（所在不明）
H16,3　第 37 回生　テント（写真 19）
H17,3　第 38 回生　阪神淡路大震災 10 周年メモリアル銘板「忘れない」（写真 20）
H18,3　第 39 回生　テント（写真 19）
H19,3　第 40 回生　テント
H20,3　第 41 回生　テント
H21,3　第 42 回生　グラウンド更衣室（写真 11）
H22,3　第 43 回生　テント

写真 14 第 27 回生植樹

写真 15 第 28 回生植樹

写真 16 第 29 回生植樹

写真 17 第 34 回生植樹

写真 18 第 35 回生植樹

写真 19 第 37 回 39 回生寄贈テント

写真 20　第 38 回生銘板

7. おわりに

舞子台から学園都市への移転 20 年を記念して、施設面の変遷をまとめた。また、図 2 に、それらの位置を整理した。

既に 21 年が過ぎようとしており、多くの方の情報を繋ぎ合わせたが、記憶の風化は始まっており、収録できていないものも多くあると思うが、ご容赦願いたい。収録したものには、それぞれ思いがあり、特に卒業時に贈られた記念品は、この間に卒業した約 4500 名の思いが込められている。これらの記念品は、伝統を受け継ぎ、本校が発展することを凛として見守っている。

図 2 神戸高専内収録施設の配置地図

参考文献

(1) 30 周年記念誌，神戸市立工業高等専門学校，1993
(2) 40 周年記念誌，神戸市立工業高等専門学校，2003